

逆境が産んだ世界初：3次元マイクロ加工によるナノロボット、再生医療デバイス

第4回 SRAP セミナー 特別講演会

11月17日(金) 16:40～
本館6階学術講演会室

講師

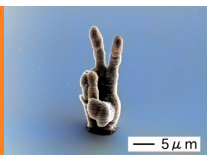
生田 幸士



東京大学 情報理工学系研究科
システム情報学専攻 教授
(同学 先端科学技術研究センター 教授 兼務)

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1
TEL: 03-5841-6885 FAX: 03-5841-0719
Mail: ikuta@rcast.u-tokyo.ac.jp
URL: <http://www.micro.rcast.u-tokyo.ac.jp>

講師紹介



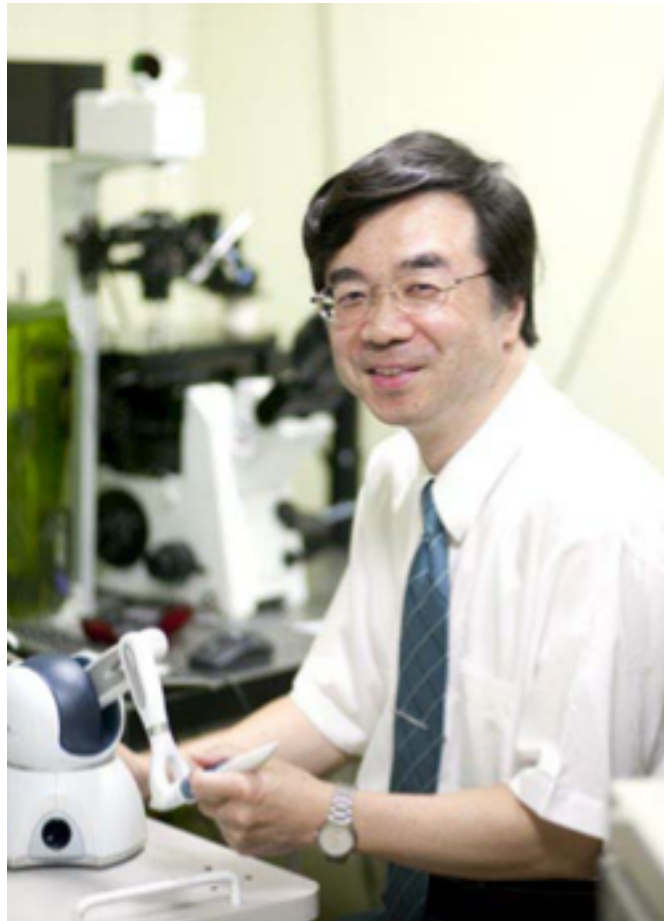
世界の医療ロボット研究のトリガーとなった 80 年代の「能動内視鏡」。3次元マイクロマシン作製法の草分け「マイクロ・ナノ光造形法」、「光駆動ナノマシン」、「新原理アクチュエータ」、「化学ICチップ」、「マイクロ遠隔手術ロボット」など、80 年代から世界初のコンセプトと新原理に基づく独創的な医用マイクロナノマシンと医用ロボティクスを開拓。「たまご落とし」、「馬鹿ゼミ」などユニークな創造性教育にも力を入れている。数多くの高校で出前授業を行う。NHK「課外授業ようこそ先輩」で大阪の母校でも授業。「爆笑学問」、「夢の扉」などにご出演。趣味はウォルト・ディズニーの研究。

ご略歴



- 1987 年 東京工業大学・大学院理工学研究科・博士後期課程・制御工学専攻 修了 (工学博士)
- 1987 年 米国カリフォルニア大学主任研究員
- 1989 年 東京大学工学部計数工学科・専任講師
- 1990 年 九州工業大学情報工学部機械システム工学科・助教授
- 1994 年 名古屋大学大学院工学研究科マイクロナノシステム工学専攻教授
- 2010 年より現職

受賞歴：紫綬褒章、米国ラボラトリオートメーション学会・功績賞、文部科学大臣賞・研究功績者、市村学術賞、グッドデザイン賞、日本機械学会学術業績賞、同・ロボメック賞、日本ロボット学会論文賞、日本コンピュータ外科学会最優秀論文賞など40近い受賞。



講演概要

どんなに華やかに成功しているように見える研究者にも逆境はある。その逆境をバネにし、一般研究者には届かない高さにまで到達できることがある。講演者の研究はすべてその逆境バネを活かしてきた。世界初の医療ロボットである能動内視鏡、マイクロマシンを2次元から3次元にしたマイクロ光造形法、液中で稼働するマイクロモータが無いことから生まれた光駆動ナノロボット、名医でさえ手が入らない深部臓器の微細手術を可能にするマイクロロボットなど、現在では世界的に認められ世界の研究者が追いかけている研究テーマも、講演者が研究開始段階では一笑に付された。地震災害から個人の問題、研究費獲得策まで全てが、逆境のとらえ方、活かし方次第であることを研究を通じてお話します。